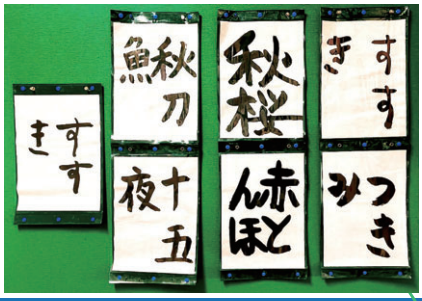


もちのき

令和8年（2026年）9月号
Vol.81
【社会福祉法人愛の森広報紙/一般用】



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(TEL:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

遊美術（8月13日（木））

書道教室（8月19日（水））

スクープ！ ひみつけっしゃ あいのもりがくえん

以前からの「もちのき」読者の方々は「ひみつけっしゃ あいのもりのうえん」なる組織があるらしきことをご存じかと思いますが、他にも謎の組織☺の存在が最近明らかになりつつあります。

大胆にも「ひみつけっしゃ あいのもりがくえん」を名乗る？集団の綱領・構成員は詳らかになっていませんが、「学園の諸ルールを超越して行動する」ことを活動の柱の1つにしている模様。その活動歴は長く昭和の終わり頃からであること、中心メンバーは何故か常時40名程で(笑)、本部と市内3か所の拠点を持つほか、各地に「あじと」☺があるらしいことが判明しています。

最近の活動ですが…。一応利用者さんの入室をご遠慮いただいている職員室内で、早朝、お茶を飲みつつ、謀議をしている様子が頻繁に目撃されています。職員が退室をお願いしようとすると「今日は〇〇さん、日勤？」とシフト確認をするふりをして煙に巻き、さりげなく退出していきます。

施設長席で何やら一心不乱に文字を書いている構成員さんもいます。暗号なのか独自の文字体系なのか、「かそーけん」に分析依頼中ですが、きっと秘密報告書の作成中なのでしょう。

送迎車の出発時を見計らって、ストライキに突入する構成員さんもいます。高度な戦術です。「把握」や「予測」といった支援上のテーマを追究するうえで、非常に勉強になります☺。

管理職緊急招集訓練を発動する構成員さんもいます。突如ひとりかくれんぼ大会を企画し、夜勤職員が青くなって未明に管理職宛連絡！その日は、お陰さまで早起きができました☺。

また、その多くが、昼間、職員の数が多いときは一般市民のふりをしているというキケンな(笑)存在でもあります。ベテラン職員が夜勤のときは消灯とともにベッドに入り油断させます。そして若手職員の夜勤時に一斉蜂起する、といった陽動作戦に出るのです。新人はこの「オール！」を乗り越えて初めて、ひみつけっしゃ側からも職員として認められるようです。

かつては不意に姿をくらまし、都心！の交番に突撃したり、学園から70キロもあるご実家付近で突然気配を消し学園まで行軍する、など、「しがいせん」を得意とする構成員さんもいましたが、平均年齢が50歳を超え、最近は少し活動がトーンダウンしているという噂もあります。

しかし油断は禁物。様々に繰り出される高度な新戦術に対抗すべく、学園側も、支援会議、厨房会議、リスク人権委員会、医療ケア会議、などで作戦を練り、対応を高度化します。学園は常に「ないせんじょうたい」なのです！

実は…。一部管理職がこのひみつけっしゃの活動を密かに応援しているという噂があります。現場職員の苦労も知らず、いい気なものです。

でも…。彼らの自由奔放なお振舞いと、安全安心のための必要最低限の管理とのせめぎあいが、より楽しい学園を生むのかもしれません。

[ひみつけっしゃあいのもりつうしん
つうしん部長]









今年も、三浦半島で大規模農家を営むご実家から、たくさんの西瓜を送っていただきました。学園、GH、通所各部門でおいしくいただきました。

［プラスアルファ］「ふれあい会」でプチゲームをやってみました！：８月５日(水)

入所利用者さんの日常活動の一つに自治会活動があります。40人の入所利用者さんの選挙により毎年度、会長・副会長を選び、毎月一度、第一水曜日の午前に自治会総会としての「ふれあい会」を開催します。ふれあい会では、会長の挨拶に始まり、ふれあい会担当職員から、今月の予定その他の情報提供や、感染症流行時の注意喚起など、がメインですが、「森のカーニバル」等の大きなイベントに向けては、事前に利用者さんから様々なご意見やリクエストを募集し企画内容に反映させるなど、利用者さん主体の活動組織として長らく運営されています。

とはいえ、一寸最近はマンネリ気味。せっかく多くの利用者の皆さんに集まっていただく会なので、さらに利用者さんが主体的に楽しめる会にしよう！ということで、今年度から会にあわせ、プチイベントも一緒に実施するようにしています。例えば当月にお誕生日を迎える利用者さんを紹介して、みんなでバースデイソングを歌ってお祝いしたり、今回は夏にちなんで「なんちゃってスイカ割り」を開催してみました。利用者さんの日々のご様子を拝見しつつ、日常の一コマに一寸した付加価値を付けられれば、と思っての取組み、また、随時ご報告したいと思います。






［納め会！］お盆休み前の恒例のティータイム：8月10日(月)

若い利用者さん、現役世代のご両親とともに昭和の終わりにスタートした愛の森学園。盆暮れともなれば、多くの利用者さんが比較的長めの帰省をされるため、その前の「日中活動」終了の「区切り」として、ちょっと豪華なティータイムを実施、それを「納め会」と称しておりました。

近年、親御さんの高齢化等に伴い、いわゆる夏休み・冬休みの期間も、学園で過ごされる入所利用者さんが多くなってきています。とはいえ、「節目節目」のプチイベントは大切に、ということもあり、今年も、お盆を迎えるにあたり、恒例の納め会を学園食堂にて開催しました。

企画するスタッフの意識としては「節目」という位置づけですが、一方で「おさめかい」という言葉の響きのなかには、「通常のティータイムよりもおいしいおやつがでる！」というのが利用者さんにとっては長年の「刷り込み」でもあります。皆さん、前日、あるいは、当日午前中のから「今日の納め会、(おやつは)何？」と、利用者さんからも関心一杯。

紅茶とシュークリーム、そして差し入れの巨峰、という夏らしいラインナップで、今年も、恒例の「納め会」を和やかに終了し、無事、学園もお盆入りを迎えることとなりました。






[日帰り旅行] 今年第三弾は、「えのすい」へ ：7月16日(木)



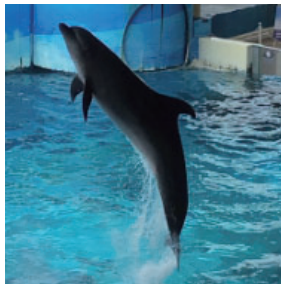
今年の日帰り旅行第3弾は、新江ノ島水族館に行ってまいりました。今年度から導入したADL別グルーピングでは、ゆっくり組に位置付けられる今回のグループ。車いすの方やお目の悪い方なども含め、見たいもの、食べたいものをそれぞれのペースで、というコンセプトです。

出発後、まずは、昨年オープンした「道の駅湘南ちがさき」へ。野菜やお菓子、焼き菓子、ソフトクリームなど様々なものが売っておりましたが、特に皆さんに人気だったのは、「湘南いぬいあんぱん」。ホイップクリームがたっぷり入ったボリューム満点のアンパンは、栄養士が管理する学園の食事メニューであり得ない、「背徳の味(^^♪」。

目的地の「えのすい」では、のんびり組のなせる業か(笑)、イルカショーには間に合いませんでしたが、ショーの練習をしているイルカたちを偶然見ることができ、これまたラッキー。

お昼は江ノ島に移動し、名物アジしらす丼をいただきました。新鮮な海の幸、かつ、食べ易いこともあり、皆さんぺろりと早々に完食。午後は江ノ島の参道をそれぞれのペースで散策し、暑い日ではありましたが、熱中症になる方もなく、楽しい旅行を終えました。







[森の里夏祭り] 伝統ある地域のお祭りに、今年も参加させていただく！：8月15日(土)

学園がその一角に所在する森の里地区は、学園創設とほぼ同じ頃に大規模開発が進められた緑豊かな住宅街。地域活動・自治会活動などが厚木市内で最も活発な地域として知られています。そんな森の里地区の夏の風物詩、第41回目の夏まつりが今年も盛大に開催されました。

市内では高齢化率が高めの地区ではありますが、この日は、地区から巣立ったお子さんやお孫さんなども里帰りされ、世代を超えた多くの方々が、会場の若宮公園に集います。

我が学園は毎年、学園の備品であるテーブル・椅子などを貸し出したり、手作りの作品を販売するための出店をさせていただくなど、陰に陽に様々な関わりをさせていただいております。

当日は、16時の開会直後に夕立ちがありましたが、以後は天候も回復し、順調にプログラムも進行。学園からは、入所やGHの一部の利用者さんも参加し、賑やかな縁日で買ったり食べたり、盆踊りを楽しんだりと、それぞれに夏まつりを堪能！

また、利用者さんが日ごろの活動のなかで制作する手作り作品については、眼鏡チェーンや、コースター、ビーズアクセサリーなどが飛ぶように売れていきます。販売担当を担った学園職員も、的屋のお兄さん張りの商売トークで、作品の売上げに貢献させていただきました。

恒例の花火がきれいに打ちあがり、今年も、森の里夏まつりは盛会のもと終了し、学園の皆さんもお盆のひとときを楽しませていただきました。










[こんなガイヘル・あんなガイヘル]　昨今の一寸変わったガイヘル二題から！

～ 利用者さんに、楽しく主体的な生活を行っていただくためには、「個別ニーズ」や「選択」を重視する必要がありますが、一方で、集団生活のなかでは、限界があるのも事実。学園では、利用者さんと職員によるマンツーマンの外出を重視しています。昨今の取組みを２題ほど。

① 快晴のなか、桃狩りバスツアーへ：7月31日(金)







利用者さんと職員のマンツーマン外出というと、学園公用車を使って、というパターンが殆どですが、今回、利用者さんから「バスツアーに行ってみたい！」とのご提案があり、初トライ！

職員も初めての経験となるバスツアー、夏休みの時期ということもあって、ご年配の方から学生さん、海外の方も含め、観光バス３台、100名余りのにぎやかな旅は、山梨方面に向かいます。

途中、ワイナリーに寄って富士山の湧き水を使ったぶどうジュースを試飲したり、笛吹市内の果樹園では、白桃を５つもいただいたり、と十分に季節を果物を堪能したほか、ツアーの皆さんとご一緒した昼食では、隣の方にお茶を勧められ、ちょっと緊張しましたが会話も弾み、初めて尽くしの楽しい「ガイヘル」となりました。

② 思う存分！、カラオケ女子会🎤：8月25日(水)

学園内にカラオケ好きは多く、日課のない日などは、結構午前中から園内カラオケ大会が盛り上がったりする我が学園。一方、同好の士が多いがゆえに、思う存分、といかない実情も…。

「順番を気にせず」、「好きなだけ！」というニーズに応えるには、やはりカラオケボックスに出張るしかありません！　今回、特に歌がお好きなお二人によるカラオケ女子会を企画、往年の昭和歌謡曲と、平成アイドル曲が織り交ざる、一寸年齢差のある(笑)歌合戦を実施しました。

当初はそれぞれマイペースにカラオケを楽しんでおられましたが、会が進むにつれ、お相手の熱唱時に相方が手拍子をつけるなど、徐々にお互いの歌唱を尊重するような仲良しデュオに！　熱唱数こそ若い利用者さんに軍配が上がったようですが、久々のカラオケボックスを存分に楽しみ、〆は女子会らしく洋食を堪能して、この日のガイヘルを終えました。









法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。



一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。
当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立てなどにのみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願い申し上げます。
【寄附金についてのご照会窓口：(福)愛の森総務課(℡:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)】
【寄附金受入管理専門口座：ゆうちょ銀行 /記号 10950 /番号 39350301 /口座名義 ﾌｸ)ｱｲﾉﾓﾘ 】
【領収証の送付手続き等もありますので、電話かメール(info@ainomori.or.jp)でのご一報も頂けますと幸いです】